

福島県議会議員

まさゆき

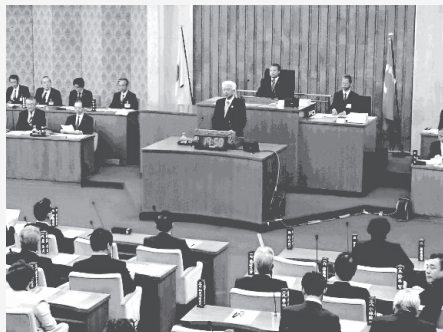
てしがわら正之



一般質問日

2017.2.28

今日は一般質問日の初日。トップで登壇し、質問をさせていただいた。内容の一部を後日、動画でホームページにアップしたい。※3月末公開予定



福島県議会議場

2月定例県議会が…

2017.2.22

今日は、2月定例県議会代表質問の2日目。昨日の自民党吉田幹事長の代表質問に知事は、避難地域の再生や避難

者の生活再建をはじめ、復興を着実に進めることはもとより、福島ならではの強みをいかした攻めの取り組みを積極的に展開し、福島の奇跡という新しい歴史を創り上げることが出来るよう、全力で取り組むと答弁した。

県民健康調査で…

2017.2.23

福島県議会議員研修会が行われた。講師は、ふくしま国際医療科学センター長「谷川攻一氏」



福島県議会第一特別委員会室

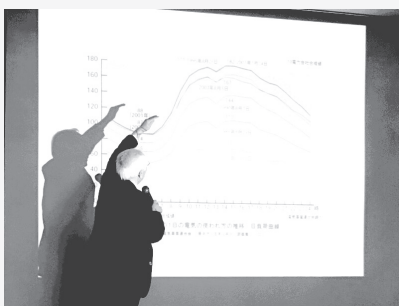
「県民健康調査から見えてきたことは、幸いにも、放射線の被ばく線量は低く、原子放射線の影響に関する国連科学委員会は、がん発生率への影響は認めないであろうと結論づけている。

一方で、事故による他の健康影響(震災関連死、精神影響、長期避難による生活習慣病等)が大きいことが指摘されている」と話した。

水力発電が日本を救う

2017.2.15

竹村公太郎先生の講演を聞いた。日本に無尽蔵にある水資源および水力発電設備をなぜもっと有効に利用しないのか、資源のない日本は、水力以外の発電のための原材料のほぼ全てを海外に依存して、その金額は年間約14兆円に上る。



ホテル辰巳屋

ダム有能力を最大限に引き出し、河川法を整備すれば、年間2兆円相当の電力が新たに供給されると話した。

水曜会が…

2017.1.18

今日は水曜会。避難地域の現状と課題を演題に、避難地域復興局成田良洋局長から、避難指示区域12市町村のこれまでの復興のあゆみと今後の取り組みについて、話を聞いた。



郡山ビューホテルアネックス

まだまだ課題は山積している。

福島県 ASEAN 議員連盟設立

2016.12.20



福島県議会第一特別委員会室

東南アジア諸国連合(アセアン)を中心とした東南アジア諸国と福島県の経済、社会、文化、政治における連携、交流と友好親善を促進する目的で、全議員が参加し、福島県アセアン議員連盟が設立された。

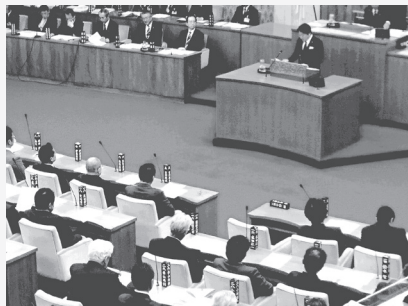
ジェトロの海外調査部アジア大洋州小林恵介課長代理から「アセアン経済事情とビジネス環境」の演題で、設立記念講演会が行われた。

にぎわいの復活へ!

2016.12.14

福島県議会一般質問の2日目。314年前の今日、赤穂浪士による吉良邸討ち入りが行われた。現在は、吉良邸の一部は、松坂公園となり、元禄市で賑わっているという。

福島県は、震災から5年9ヶ月が経過したが、復興・再生は道半ば。真の復興をはたすまでには、まだ多くの時間を要する。



福島県議会議場

避難地域の復興再生、風評・風化対策、産業や農林水産業の再生、地域創生、人口減少対策など、様々な施策を総合的・重点的にスピード感を持って、進めて行かなくてはならない。

福島県議会議員

まさゆき

てしがわら正之



政府予算要望

2016.11.25

平成 29 年度政府予算要望活動を行った。各団体からの要望を望月義夫自民党幹事長代理に手渡した。その後、6 班に分かれて支援団体の皆さんと関係省庁に出向き、要望書を手渡した。



国土交通省

長期化・複雑化する風評被害は、県内全域に深刻な影響を及ぼしている。被害 12 市町村に留まらず、県内全域に渡って自立に向けた取り組みの充実、地域再生の推進を強く要望した。

知事への来年度予算要望

2016.11.15

平成 29 年度県政に対する重点要望を知事に対して行った。総務部会長として、総務部所管の重点要望を行い、復興創生期間 2 年目となる平成 29 年度もなお、厳しい財政状況が続いて行くものと思われる。

復興創生を中期的に見通し、安定した財源の確保と財政健全化こそが、一丁目一番町。計画的な財政運営を進めるためにも、県財政対策の強化を強く要望した。



福島県庁特別室

集落にサービスが届かない！

2016.11.30

自民党福島県連で、政策先進県調査を行った。高知県では、全国に比べ、人口減少は 15 年、高齢化は 10 年早く進行していると言う。地域の支え合いの力の急速な弱体化が、顕著になってきた。

高知県の山間部では、福祉バスという名の軽自動車、買い物や病院への通院等のための移動を支援している村もある。高知県では、市町村の取り組みに対して、運営費の二分の一を補助している。



高知県議会事務局

中山間地域では、多様なニーズがありながらも、全国一律の基準の制度サービスでは、利用者が少ないことから、民間参入が進まない。どの県でも、課題は共通している。

ふくしまの未来のカタチを見てみよう！

2016.11.19

本日、議長代理で、開会式の祝辞及びテープカットを行ったが、ロボット・航空宇宙フェスタのイベントに大勢の親子連れが訪れている。

福島県は、「ロボット関連産業革命の地ふくしま」を目指している。ロボットは、様々な産業分野や生活の中での活用により、今後、社会全体を変革する可能性を持ち、関連産業を大きく成長させる。

来場してくれた子供たちに、ロボットと遊び、興味や感心を持ってもらい、将来、航空宇宙やロボットなどの分野で、新しい時代を切り拓き、ふくしまの未来を創造してくれる技術者が、この子供たちから誕生することを切に望みたい。



ビックパレットふくしま